

オフィスビルにおける「あるべき姿の提言」出版活動

本田 広昭（株式会社オフィスビルディング研究所 代表取締役）



私のライフワーク活動
日本のオフィスを豊かな空間に！

2000年5月出版
（鹿島出版会）



2006年12月改定出版
（鹿島出版会）



2014年6月出版
（白揚社）



オフィスビルにおける「あるべき姿の提言」出版活動

○ 功績（出版活動）の概要

- ◇ 社会や時代の変化に対応したオフィスビルのあるべき姿について提言出版活動を展開
 - ・「次世代ビルの条件」（鹿島出版会2000年5月30日発行）
 - ・「新・次世代ビルの条件」（鹿島出版会2006年12月12日発行）
 - ・「オフィスビル2030」（白揚社2014年6月15日発行）
- ◇ 建築やFMなど多様な専門家で構成する研究会を主宰し、その「集合知」による分担執筆
 - ・「次世代ビルに条件」関連では、19名が参加する「ベースビル研究会」を主宰
 - ・「オフィスビル2030」では24名による「オフィスビル2030出版研究会」を主宰
- ◇ 出版やシンポジウムが契機となりメディアに取り上げられ、提言がさらなる拡がりを見せる
 - ・日本経済新聞「建物主役の時代～新たな社会資本整備」
(日本経済新聞経済教室2000年10月6日～同30日15回連載)
 - ・日経ビジネスオンライン「誰もが満足しないオフィスはなぜ生まれる？～日本企業は“働きやすさ”への気遣いがなさ過ぎる」(2014年7月19日キーパーソンに聞く)

オフィスビルにおける「あるべき姿の提言」出版活動

◇出版活動に共通するキーワード

- ・「オフィスビルにかかわるさまざまな分野や立場の違いに横串を刺して、あるべき姿を提言」
- ・「社会や時代の変化に対応したオフィスビルとして、変わるものと変わらないものを見分けた、変化対応力の優れたシンプルなあるべき姿を提言」
- ・「技術革新による社会の変化を読み解くヒントとして、未来技術マップ（現在技術・3～10年の近未来技術・10年を超える未来技術）を毎回更新掲載し、オフィスビル2030では、近未来の主力をイメージする世代マップも掲載」
- ・「立場も分野も異なる多くの研究会メンバーが、語り合い、飲み、交流して本音で語りあう環境下で、オフィスビルの全体像を俯瞰することの重要性を提言」
- ・「出版や関連するシンポジウムを契機として、メディアに取り上げられ提言が大きな拡がりをもった」

◇各出版物の「提言骨子」

- ・次世代ビルの条件・・・「変貌する未来社会とオフィスビル」
- ・新・次世代ビルの条件・・・「未来社会が求めるオフィスビル」
- ・オフィスビル2030・・・「2030年、オフィスビルは必要か？」